

養 氣 軒

ようきけん

『さわやかな笑顔と思いやりの心で、安心、安全な満足される医療をめざします』
そのために、患者さんは言うまでもなく全職員ひとり一人を大切にします。

●ようきけんとは「病む人の病のみならず心をも癒すことの出来るところ」という意味です。



院長・副院長杯争奪!ソフトバレーボール大会!

6月2日、職員レクリエーションの一環として、院内ソフトバレーボール大会を開催しました!

会場には様々な部署から約80名の参加者が集まり、激戦が繰り広げられました。

未経験者や、普段あまり運動する機会の少ない職員も多く参加していましたが、

予想以上にラリーが続く場面も多く、会場は熱気と歓声に包まれていました。

優勝・準優勝チームには豪華賞品が贈られ、参加した職員にとって充実した時間となりました。

大きなけがもなく無事に終了し、安堵しています。

今後のレクリエーションも、職員同士の交流をさらに深められる機会となるよう取り組んでまいります。

(庶務係長 森 翔一郎)



造影剤副作用訓練実施について



放射線科 秋山 亜樹

5月21日、放射線技師、外来看護師、医療安全管理室師長、総合診療科医師ら計17名が参加し、CT造影剤副作用訓練を実施しました。

訓練では、3月末に実際に発生した症例をもとに、放射線技師、患者さま、看護師、主治医の各役割を担当する参加者によるシミュレーションを行いました。その中で、対応の誤りや問題点について参加者が挙手形式で意見を出し合い、課題や対応方法について認識の共有を図りました。

今回の訓練を通して、患者さまの異変に気付いた

際の初期対応、モニターの必要性、アドレナリンの使用法、ハリーコールを行うタイミングなどについて話し合いを行い、総合診療科医師から多くの助言をいただきました。

造影剤による副作用は、いつ・どの患者さまにも起こり得る可能性があります。今後も患者さまの安全・安心を守る医療を提供できるよう、定期的な訓練を継続してまいります。



和楽コンサート

教育担当師長 **松本 深雪**

6月18日（木）に8病棟食堂にて、8年ぶりに当院へボランティアとしてお越しいただいた『竹友会』さんによる尺八・三味線・民謡の和楽コンサートを開催しました。

行事企画段階から他職種と連携し、イベントを作り上げる事で多くの利用者の方に参加いただくことができました。

民謡の由来や楽器についてユーモアを交えたお話を聞き、病院スタッフが尺八演奏を体験する場面では音を出す難しさに驚きながら会場全体で楽しい時間を共有しました。



ボランティアの皆さんとの交流を通して、利用者の方に日常とは異なる時間を届けることができ、多くの笑顔が見られました。

地域とのつながりが利用者の方にとって、生活に彩りや気分転換の場を提供できる貴重な機会であることを改めて実感しました。今後も利用者の方に楽しんでいただけるような活動を計画していきたいと思います。



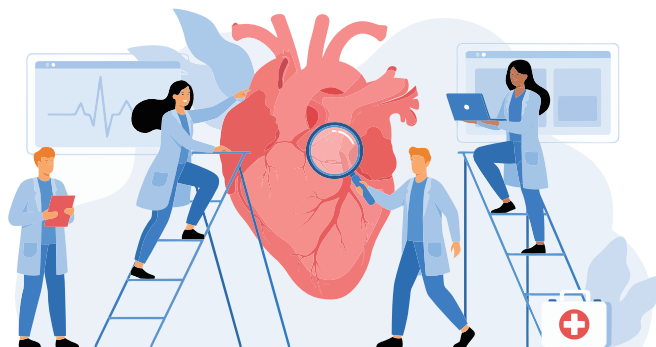
診療科紹介(循環器内科)

循環器内科 二宮 暁代

循環器内科では、心不全、虚血性心疾患、不整脈、肺血栓塞栓症、高血圧、心筋症など循環器疾患全般に対応しております。入院患者さんは、心不全の患者さんが最も多いです。

虚血性心疾患に関しては、負荷心電図や冠動脈CT、負荷心筋シンチなどの検査を行い、カテーテル検査・治療の必要性があれば高次医療機関へ紹介をしています。

入院・外来ともに心臓リハビリテーションを施行し、栄養指導も含め、心不全の重症化を防ぐため、また心不全の回復に向けて多職種と協力して加療を行っています。



医療の進歩に伴い、例えばリードペースメーカー等の様に当院ではできない治療の選択肢も増えていますが、当院で可能な限りは対応し、必要に応じて高次医療機関での治療をお勧めしています。まずは、お気軽にご相談下さい。

部署紹介(栄養管理室)

栄養管理室 山下 真喜子

こんにちは!栄養管理室です♪

私たちは病院管理栄養士2名と、給食委託会社の管理栄養士・調理スタッフが力を合わせ、毎日のお食事をお届けしています。厨房では365日休むことなく、早朝4時30分から20時まで調理や洗浄を行い、安心・安全な食事提供に努めています。

栄養管理室では、献立作成などの給食業務をはじめ、入院中の栄養管理や低栄養の患者さんへの食事相談、外来・入院での栄養指導を通して、治療をサポートしています。

入院中は「食べて元気になってもらうこと」、退院後は「ご自身の身体をいたわる食事を続けていただくこと」を大切に、日々関わっています。

患者さんからの「おいしかったよ」という言葉が、私

《行事食の紹介》



たちの励みです。

これからも四季を感じていただける食事を、真心を込めてお届けしてまいります。

編集後記

医療相談支援センター 富永 文子

近年、国内では大雨による災害が報じられる一方、ヨーロッパでは40度を超える記録的な熱波が続くなど、予想を超えた気候変動の影響を身近に感じる出来事が増えています。日本でも本格的な夏を迎え厳しい暑さが続く季節となりました。こまめな水分・塩分補給や適度の休息を心がけるなど、どうぞご自愛ください。本号では、療養中の患者さんにお楽しみいただいたコ

ンサートや、暑さに負けず職員同士が親睦を深めたソフトバレーボール大会の様子などを掲載しております。こうした院内の行事や取り組みを通して病院の雰囲気を感じていただければ幸いです。そして、これからもみなさまに安心してご利用いただける環境づくりに努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。